

【児童・生徒の学力向上を図るための調査結果の分析より】

【学力向上に関する学校運営方針】（学力向上にかかわる要点）

- 「主体的かつ対話的活動を通して学習を楽しむ子供の育成」
- ・学習に対する，興味・関心を高め，自分なりの見方や考え方を能動的に表現し，対話的で深い学びのある授業を創造する。
- ・実感を伴った理解を通して，生きて働く知識・技能を習得し，実生活と結び付けて考えさせる。

【都「児童・生徒の学力向上に関する調査結果分析内容」

- ・**関心意欲態度**：どの教科も高い数値を示しており，意欲をもって学習に取り組もうとしていることが分かる。さらに，意欲を持続させ，知識をより効率的に定着するように授業の内容や形態を工夫していく必要がある。
- ・**思考判断表現**：全ての教科で都の平均を上回っている。さらに思考を深めていくように，グループでの討論や話し合いを中心とした授業展開を工夫する必要がある。また，年間指導計画の中で課題を自ら見付け，追究していけるような教材や内容を選択し，主体的な思考を促すような授業を展開する必要がある。
- ・**技能**：全ての教科で都の平均を上回っている。算数では，家庭学習も含めて反復練習を中心に行い，計算や問題解決の方法を的確に選択し，正確に解答を導き出せるようにしていく必要がある。社会では，資料の読み取りやデータから分かることを発表し合うなど授業を工夫することで，理解をさらに深めていく必要がある。理科では，「事象提示 問題づくり 仮説 実験計画 実験 考察 結論」の流れを基本として確実に理解を深めさせていく必要がある。
- ・**知識・理解**：どの教科についても高い数値を示している。特に算数では，大幅に都の数値を上回っている。今後も基礎基本を確実に理解させていくとともに，個人差に応じた課題やその提示方法を工夫しながら，誰にでも学習の内容を深く理解できる授業を展開していくことが必要である。



【授業改善の方針・目標】

「主体的に学習に取り組み，自ら考え，学びを活用する力を身に付ける授業を推進する。」



【授業改善のための各学年の具体的な取り組み】

1 年 生	基礎的・基本的な力を付けるため，具体物や半具体物を操作する活動を取り入れ，スモールステップで確実にできるようにする。また，学習の流れが分かる板書計画をし，自分の思いや考えを言葉にする場を取り入れる。
2 年 生	自分の考えに自信をもち，全体の場で表現できるように，各教科で友達の思いや考えを聞いたり，自分の思いや考えを発表したりする機会を設けていく。
3 年 生	継続的に話し合いの活動を行う。その際，自分の意見と他者の意見を比較し，内容について理論的に話し合いを進められるようにする。
4 年 生	話の中心に気を付けて聞く力を付ける機会を日常的に取り入れる。話題を決め，相手や目的に応じて伝えることを意識して自分の考えを表現する機会を増やす。
5 年 生	学習の課題やその提示方法を工夫し，自ら考える時間を確保して個々の児童に深く思考させるようにする。また，自分の考えたことを話し合わせたり発表させたりする機会を増やすことで，自らの考えや理解をより深めさせるようにする。
6 年 生	自分の考えや思いをグループや少人数の友達と話し合ったり意見の交流をしたりする授業形態を増やすことで，自らの課題をより深めさせていくようにする。
校 内 研 究	児童同士が教え合う場面を意図的に設定し，運動のポイントを伝え合わせることで運動技能を伸ばすようにする。また，児童がお互いを高め合うことで運動に親しませるようにする。



【取組の評価方法，時期】

	評 価 方 法	時 期
1 年 生	ノートの書き方や発言の仕方の基本が身に付いているか見取る。自分の思いや考えを書いたり発表したりする場を設定し，様子を見取る。	通年を通して授業内（国語，社会，算数，理科，総合的な学習の時間，道徳等）で実施する。また，朝の会や 帰りの会等を活用して日々継続した活動につなげる。
2 年 生	二人組やグループでの話し合いなどを通して，自分の思いを伝え，認めてもらう活動を継続的に行うことで自信をもたせ，全体で発表する場面を設け，変容を見取る。	
3 年 生	自分の考えや他者の考えをワークシートやノートなどに記入させ，単元や行事ごとに評価していく。また，話し合いの様子も継続的に記録しておく。	
4 年 生	朝の会や学級活動に話す・聞く活動を設定し，話し合う活動を継続的に進める。	
5 年 生	課題の解決方法や自分の思いや考えを記述したノートを評価する。話し合いや発表の様子を細かく観察し，思考の深まりを見取る。各単元ごとにテストを行い，思考判断の項目について細かくチェックすることで，個々の評価をする。	
6 年 生	話し合い活動や発表の機会を増やし，思考の深まりの様子を見取る。学習カードやノートに自らの考えや意見を整理して書かせ，単元ごとに確認をする。	
校内研究	「運動に親しみ，関わり合い 高め合う児童の育成」を研究主題に，友達と仲良く助け合い，進んで自分の考えを伝え合い，高め合える児童が育つよう，取り組みを進める。	6，10月に研究授業を行う。4月，7月，2月にアンケート形式で調査を行い，運動への興味関心や「関わり合い」等の意識の変容を調査する。